

## スマイルサポーターフォローアップ研修議事録

日 時	平成 30 年 1 月 8 日 (木) 14 時～16 時	場 所	堺市産業振興センター
参加人数	31 名 CSW さん 11 名	講師名	大阪府社協 上村 英氏
テーマ	誰でも参加できるスマイルサポーターフォローアップ研修		
内 容	<p>◎大阪社会福祉協議会 社会福祉貢献支援室 上村 英氏  社会福祉法人の地域貢献実践を広く「見える化」する大阪しあわせネットワークポータルサイトが、平成 30 年 10 月 1 日に開設しました。</p> <p>オール大阪の社会福祉法人による社会貢献事業とは・・・全国において大阪が社会福祉事業の先駆的実践を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活困窮者レスキュー事業</li> </ul> <p>大阪府社会福祉協議会・老人施設部会が、生活困窮者を対象に寄り添った総合生活相談と緊急時の食材購入など現物給付による支援を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こんにちは赤ちゃん事業 乳児家庭全戸訪問</li> <li>・スマイルサポーター</li> <li>・オール大阪しあわせネットワークの社会福祉法人による社会貢献事業</li> </ul> <p>平成 16 年から、大阪府社会福祉協議会・老人施設部会が生活困窮者を対象に「社会福祉貢献事業（生活困窮者レスキュー事業）」を実施した。</p> <p>社会福祉法人内（施設）に駐在する社会貢献支援員が連携し、ワンストップ、アウトリーチによる対象者に寄り添った総合生活相談と緊急時の食料購入など現物支給を実施。</p> <p>生活困窮者レスキュー事業の経済的援助（現物給付）の実施は、社会福祉施設の理事長・園長が判断し、10 万円を限度とした現物給付ができる。また、その他に、地域住民からの寄付物品を活用した物品交換もできる。</p> <p>○大阪しあわせネットワーク支援システムについて  コミュニティソーシャルワーカー（CSW）は、地域のおけるさまざまな支援を必要としている人に寄り添い、制度や関係機関との橋渡しの役割を担うとともに、民生委員・児童委員や福祉委員会などと地域の課題ういお共有している。</p> <p>○平成 16 年～27 年までの「生活困窮者レスキュー事業」支援実績  経済的援助（現物給付）実績は、この 12 年間で、6448 世帯約 4 億 7000 万円の支援を実施。経済的援助（現物給付）を行った事例は、「失業・未就労・高齢・傷病」の要因によるものが多く、ほとんどが複雑な生活困窮を抱えている。</p> <p>経済的援助の支援内容は、食材費・高熱水費・住居関係費など「命」にかかわる緊急支援が全体の 6 割をしめる。</p> <p>○保育園からの事例検討 幼保連携型認定こども園 登美丘西こども園 大仲美智子園長先生</p>		

- ・スマイルサポーターの位置づけについて
- ・施設の強みを活かした支援

<上村 英氏>

○ケース検討

C S Wさんより事例検討。グループ内で話し合い、原因追求をして今後の課題を出し合う。



○感想

各区の地域支援員も多数参加がありました。保育の施設だからできることを最大限に生かして  
ることから取り組む姿勢の大切さを改めて知りました。事例検討では、社会福祉だからでき  
る最大限の力を協力して出し合うことの重要性を再認識しました。